

新しい自分

モース 千和

物事を理解する新しい方法

新しい考え

新しい意味

新しい意見が生まれる

美しい物

美しいあなた

新しい自分が生まれる

監獄島

二年二組

レオン

奏叙

サンフランシスコベイに聳え立つ監獄島

そう、俺がアルカトラズ島

別名は「ザ・ロック」と石ころ扱いだ

昔から囚人たちが俺の上で暴れてた

毎日毎日うるさくて仕方がなかった

そんな中、一九六二年

三人の囚人が脱獄する様子を俺は見ていた

よくあんな大きな海をボロボロの船で渡ろ

うとするなと思っ

彼らの行ちは？それは知らん

それから、やっと思自由になれる時が来た

囚人が俺から出て行っ

なかつた

だが、喜んでゐるのも束の間だった

数年後に、俺は観光地になっ

そして気づけばサンフランシスコの最も人

気な観光スポットの一つになっ

年間百万人が訪れて、これじゃあ囚人のち

が
ま
し
だ

そ
う
い
え
ば
、
観
光
地
の
中
に
一
人
の
子
び
が
し
ょ

し
ち
や
う
来
る

も
う
来
ん
じ
や
な
い
ぞ

俺
は
た
だ
静
か
に
サ
ン
フ
ラ
ン
シ
ス
コ
の
街
を
眺
め

て
い
た
い
が
け
な
ん
だ
ー

あなたは砕けた
石炭
その身は
暖炉の中に広がる

いつもここがれている
破片が合うようにと
パズルが
ぴったりはまるようにと

風は
身を投げ
それを助ける
しっかりと
「今度こそ」と

でも
砕けたピースは
なかなか
合わない

諦めた
その時
「もう一度！」
風が吹く

火花が散り
広がり
大きな炎になる

揺らめく
しかし、着実に

その初めての火を

見

私は手を

かざす

暖かさが

駆け抜ける

私の

心

に

完璧に壊れ散りぢりで

美しい

そのままの

君が

夏空の下で

名前：佐藤アナベル (高2)

青、赤 桜色の夕日の下
ワイワイガヤガヤ
昔からの親友のように
暗くなるまで続く会話

緑の芝生の上で
ワンワンッ
自分のベットのように
黒い犬と一緒に遊ぶ弟

二階の窓の隣で
ポロン、ポロロン
ジョン・レノンの旋律を
鍵盤でたどる母と叔母

やっと会えた地球の反対側の家族
思うだけで心が温まる
大好きな私の家族